

ICTを活用した新たな学びの取組み状況について（その2）

1 主旨

区立小・中学校の児童・生徒1人1台のタブレット型情報端末等のICTを活用した新たな学びの取組み状況について報告する。

2 タブレット型情報端末及び周辺機器の追加配備

(1) タブレット型情報端末の追加配備（教員用及び今後の児童・生徒増対応）

①目的 ICTを活用した学びをさらに推進していくため、教員用タブレット型情報端末の不足分を追加するとともに、今後の児童・生徒の増加に対応する。

②配備台数 3,300台

③端末納入事業者 東京都港区芝浦1-2-3
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社

④納期 令和3年10月31日

⑤契約金額 172,047,480円（消費税込み、41カ月賃貸借）

(2) 周辺機器の追加配備

①目的 タブレット型情報端末を学校内のより多くの場所で利用できるようにするため、可搬型無線アクセスポイントを追加配備する。また、授業での効率的な活用のため、タブレット型情報端末の画面をモニターに転送できる画像転送機を全学級に配備する。なお本件は、第3回定例会に補正予算を提案する。

②配備台数 可搬型無線アクセスポイント 400台
画像転送機 1,141台

③スケジュール（予定） 令和3年 9月 第3回定例会に補正予算を提案
11月 納期

④補正予算要求額 59,905千円

※特定財源あり（59,905千円）

3 ソフトウェアを活用した学びの取組み

(1) 学習支援アプリによる新たな学び

①ロイロノート・スクール

当該アプリは、教材を配布し児童・生徒が個別に学び、さらにグループ内で共有し意見交換を行うなど学び合うためのツールである。また、児童・生徒の理解度が確認でき、学習履歴が蓄積されるなど教員にとっても、効果的に指導に活かすことができる。夏季休業中には、編集機能を用いて自由研究をまとめたり、植物を撮影して観察記録を提出する課題に取り組んだりするなど様々な事例が見られている。

②Q u b e n a (キュビナ)

A Iによって出題される基礎的な問題や発展的な問題に自分のペースで取り組むことができるアプリである。夏季休業中には、復習に活用したり、新たな学習問題に主体的に挑戦したりするなど個別最適化された事例も見られている。なお、研究協力校においては、生徒が立てた学習目標の達成状況を教員が分析して一人一人の課題に応じた指導を行う研究に取り組んでいる。

(2) その他

① I C Tインフルエンサーによる I C T活用の理解促進

I C Tインフルエンサーが作成した端末やアプリの多様な操作方法・活用例の動画及びテキスト資料を全ての教員に配信した。さらに家庭学習や保護者への理解の推進のために、I C Tを活用した新たな学びの具体的なイメージを動画にまとめ、保護者への配信、ホームページへの掲載を行っている。

②特別支援学級(知的固定学級)におけるアプリ活用の検証

特別支援学級におけるI C Tの活用については、一人一人の児童・生徒に応じた新たな活用法について今後研究を重ねる必要がある。研究協力校において、児童・生徒のコミュニケーションの活性化等に有用なアプリを選定し、学習面や生活面における効果検証を行い、今後の学習に活用する。

③アプリの追加導入

各学校の児童・生徒の実態に応じて、授業や自主学習に活用できる各種のアプリを学校ごとに順次導入している。

④マイクロソフト365の活用

文書作成、協働編集、発表等で活用していくために、全ての児童・生徒及び教員がマイクロソフト365関連アプリ(Word、Excel、PowerPoint、Teams、OneDrive等)を利用できる環境を整備している。

4 教員支援・人材育成の推進

(1) I C T支援員による学校・教員支援

① I C T支援員の追加配置(別紙)

全ての学校で教員のI C T活用指導スキルを高め、児童・生徒が端末を活用した新たな学びができるようにするため、I C T支援員(端末やアプリの操作支援や、教員に対する相談・助言を担う)の月1~2回の学校訪問回数を、週1回に増加させる。さらに、活用に課題がある学校については、一定期間、週2回の訪問支援を行うなど学校配置体制を強化する。

②児童・生徒及び教員向けアンケートによるP D C Aサイクルの確立

児童・生徒の情報活用能力の高まりや教員の指導スキル等の達成度を確認するため、定期的にアンケートを実施し、適切に支援を行う仕組みを構築する。

③ I C T支援員の追加配置による補正予算要求額

6 2 , 5 9 5 千円(現在の委託事業の契約変更)

※特定財源あり(2 9 , 0 9 9 千円)

(2) 教員のICT活用指導力の向上

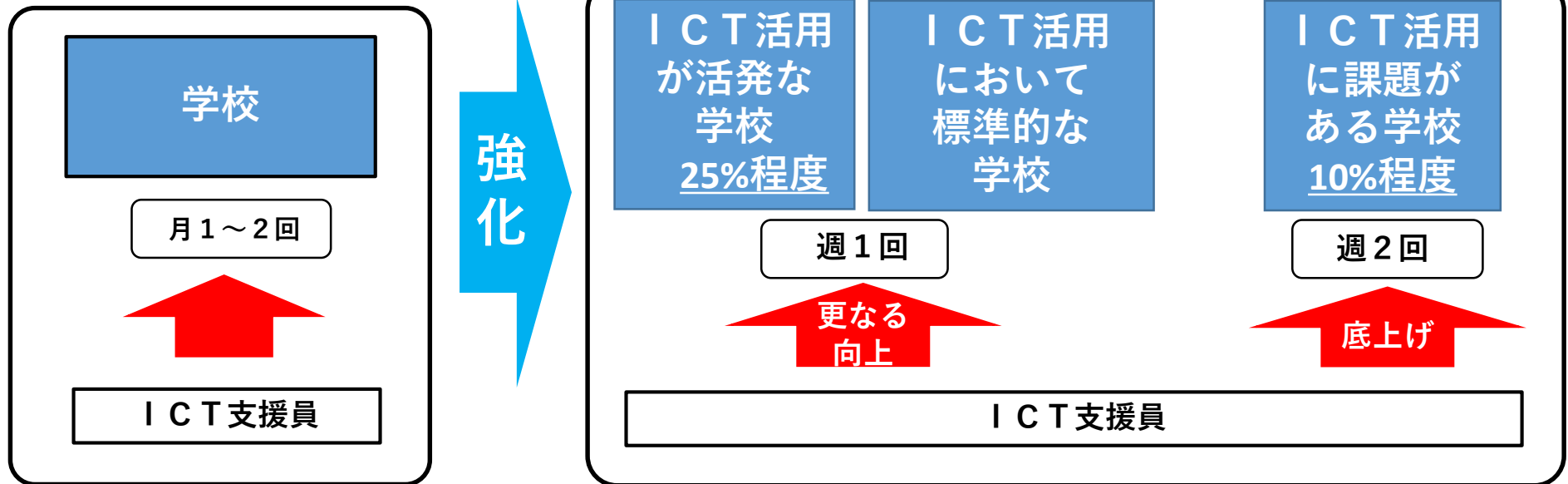
教員の活用指導力の向上のための研修を以下のように行っている。また、今後はロイノート・スクールやQubenaの次の段階の活用研修を行う。

- ①職層に応じた研修（校長研修、副校長研修、教務主任研修）
- ②年次研修（中堅教諭等資質向上研修、2年次研修、初任者研修）
- ③STEAM教育研修（プログラミング教育担当等対象）
- ④夏季教員研修（スキル向上を目指すビギナー研修）
- ⑤ICT推進リーダー向け研修及び導入研修
- ⑥ICTインフルエンサー向け研修及びインフルエンサーによる教員研修

ICTを活用した新たな学びの推進体制の強化

別紙

○ ICT支援員の追加配置



○ ハードウェアの追加配備

(教員のICTスキル向上等のソフト面の取組みを下支えするためのハード面の追加整備が必要)

タブレット端末
3,300台
(教員、生徒増対応)



可搬型アクセスポイント
400台
(追加配備、クラス増対応)



画像転送機
1,141台
(全クラス分)

